

令和3年度 病院事業局当初予算要求事項

病院事業局

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、厳しい医療環境の下でも県立病院としての役割を果たしていくための医療機能の強化、経営基盤の強化に取り組む予算案を策定。

1 当初予算要求総括表

(1) 病院事業会計

(単位：千円、%)

区分	令和2年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初要求額 ②	比較		備考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a	27,620,374	28,572,148	951,774	103.4		
内 訳	医業収益 b	25,479,518	23,084,919	▲2,394,599	90.6	
	うち入院収益	17,684,976	15,764,655	▲1,920,321	89.1	患者数の減
	うち外来収益	7,089,422	6,634,949	▲454,473	93.6	患者数の減
	医業外収益 c	2,110,856	5,457,229	3,346,373	258.5	※空床確保補助金 3,526,338 含む
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e	27,558,259	27,224,154	▲334,105	98.8		
内 訳	医業費用 f	27,041,141	26,708,016	▲333,125	98.8	給与費 +82,804 材料費 ▲449,110
	医業外費用 g	482,118	461,295	▲20,823	95.7	企業債等利息 ▲50,386
	特別損失 h	35,000	54,843	19,843	156.7	
医業収支 (b-f)	▲1,561,623	▲3,623,097	▲2,061,474	232.0		
経常収支 (b+c) - (f+g)	67,115	1,372,837	1,305,722	2,045.5		
収支差 (a-e)	62,115	1,347,994	1,285,879	2,170.2		

資本的 収支	資本的収入 i	1,931,034	2,935,931	1,004,897	152.0	企業債 +1,005,600
	資本的支出 j	3,722,596	4,694,401	971,805	126.1	
	うち 建設改良費	1,098,496	2,099,841	1,001,345	191.2	
	収支差 (i-j)	▲1,791,562	▲1,758,470	33,092	98.2	

支出予算額 計 (e+j)	31,280,855	31,918,555	637,700	102.0	広島：29,604,570 安芸津：2,313,985
------------------	------------	------------	---------	-------	--------------------------------

(2) 一般会計

(単位：千円、%)

区分	令和2年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初要求額 ②	比較		備考
			②-①	②/①	
衛生費	2,599,872	2,435,150	▲164,722	93.7	
病院事業会計への 繰出金	2,599,872	2,435,150	▲164,722	93.7	

査定結果

要求どおり

## 2 取組状況と令和3年度計画

### (1) 広島病院の取組状況等

令和2年度は、前年度末から続く新型コロナウイルス感染症対応のため、帰国者・接触者外来として県内・市域における拠点となる医療機関として対応を行う一方で、呼吸器センター、消化器センターなど専門医療センターによる高度医療の強化に取り組んでいる。また、ドクターカーの運用や、内科救急診療部の設置による救急患者受け入れの迅速化、防災設備の改修、災害特別支援センターの設置など災害・救急医療への対応強化に取り組んでいる。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診患者数が4月～7月にかけて前年比で大きく減少したことから、医業収支では厳しい状況となっている。

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応を行いながら、救急医療の強化、地域連携の強化、がんゲノム医療の推進など高度医療の強化に取り組むとともに、経費の節減など収支改善にも取り組んでいく。

#### ① 令和2年度の主な成果及び令和3年度の主な取組

##### <患者受入体制の強化>

項 目	令和2年度の主な成果及び令和3年度の主な取組
救急医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急車応需率向上に向けた取組 (H28.8～継続) <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の救急部会での救急患者受入要請の不应需事例の検証 救急車応需率 (R1 84.8% R2 見込 81.9%) 救急車受入件数 (R1 6,049台 R2 見込 5,618台 R3 目標 6,200台)</li> </ul> </li> <li>○救命救急センター (ICU・HCU) の効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応の帰国者・接触者外来として2/7に指定され、救急外来等を中心に対応を実施 (CT増設)。</li> <li>・ICU・HCUへの救急患者、院内術後重症患者等の受け入れ (算定件数: R2.10 (累計) 2,312件 (前年同期累計 2,737件 (前年比▲425件))</li> </ul> </li> <li>○ドクターカーの運用 (H30.7～平日日中で運用) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターカーで救命救急センター医師等が救急現場へ急行、処置することにより、救急患者の治療成績向上や救急隊の病院選定の負担軽減 (受入困難事例の減少と搬送病院選定の時間短縮) を図る。 ドクターカー出動件数 (R1 612件 R2 見込 340件) 4月～7月コロナ時期での運用中止</li> </ul> </li> <li>○内科救急診療部の設置 (H31.4～平日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・内科疾患の救急紹介・救急患者 (原則救急車限定) に対する窓口を一本化し、患者の受け入れの迅速化・効率化を図る。</li> </ul> </li> </ul>
がん医療を含めた高度医療の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○呼吸器・消化器センターの機能の充実 (H29.4～継続) <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数診療科の連携による専門センターの設置運用 (肺、消化管等の悪性腫瘍の受入強化) 新規入院患者数 (呼吸器センター R1 1,678人 R2 見込 1,531人 R3 目標 1,700人) (消化器センター R1 2,598人 R2 見込 2,359人 R3 目標 2,700人) がん患者数 (病院全体 R1 5,456人 R2 見込 5,160人 R3 目標 5,400人)</li> </ul> </li> <li>○がん遺伝子診療機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんゲノム医療中核拠点病院と連携して検査等を行なう「がんゲノム医療連携病院」の指定 (H30.3) を受け、遺伝子情報に関する検査を実施 (H30.7～) 遺伝カウンセリング (R1 34件 R2 見込 108件 R3 目標 110件) ※レセプト件数 遺伝子検査 (R1 49件 R2 見込 139件 R3 目標 200件) ※レセプト件数</li> </ul> </li> <li>○医療機器の導入、更新による高度医療の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいる高精度放射線治療システム (リニアック) の更新により、がん診療連携拠点病院として、放射線治療に係る診療機能を維持、強化 (令和4年度完成予定)</li> <li>・手術支援ロボットの新規導入による手術の高度化及び安全性の向上</li> </ul> </li> </ul>
地域医療連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の医療機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師による地域の医療機関訪問</li> <li>・呼吸器センター、消化器センターの他の医療機関等への積極的なPR</li> <li>・かかりつけ医との連携強化 (逆紹介の推進) 紹介率 (R1 93.5% R2 見込 90.1% R3 目標 93.0%) 逆紹介率 (R1 120.6% R2 見込 118.0% R3 目標 125.0%)</li> </ul> </li> </ul>

<医療の質と患者満足度の向上>

<p>医療の質と患者満足度の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務改善活動の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・午後外来の推進などによる患者待ち時間の短縮</li> <li>・TQM活動, 5S活動の推進</li> <li>・患者満足度アンケート（満足割合）（外来全体）R2 96.6%,（外来待ち時間）R2 66.3%</li> </ul> </li> <li>○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック使用数量割合（R1 82.1% R2 年見込 84.0%, ※現在：後発医薬品使用体制加算2：80%以上, 上位の加算1算定要件85%以上を目標に推進）</li> </ul> </li> <li>○患者総合支援センターの設置（H30.4～）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院関連業務を集約化し, 患者, 家族の入退院に関する相談等をワンストップで支援（入退院支援件数 R1 8,790件, R2 見込 7,008件）</li> </ul> </li> <li>○療養環境の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟での無料Wi-Fiを整備。</li> <li>・感染症病棟におけるトイレ洋式化, シャワー室設置工事を実施</li> </ul> </li> <li>○携帯型翻訳機の導入（R1.12～）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人患者の増加に対応するため, 携帯型翻訳機を導入（3台）</li> </ul> </li> <li>○医師確保の取組           <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き, 医師確保に努める。</li> </ul> </li> </ul>
----------------------	---

<収支改善への取組>

項 目	令和2年度の主な成果及び令和3年度の主な取組
<p>増収対策の取組強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療報酬算定適正化への継続的な取組           <ul style="list-style-type: none"> <li>・DPC機能評価係数の向上と, 入院収益改善を図ることを目的とした「入院期間適正化PT」を設置し, 診療科別に入院期間の適正化を実施（H31.4～）</li> <li>・早期離床・リハビリテーション加算の新規届出（R1.12～）</li> </ul> </li> </ul>
<p>材料費, 経費等の費用の節減</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料の標準化・統一化等           <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品も含め, 材料の標準化・統一化を図るとともに, 全国価格データによる値引き交渉や, 共同購入を引き続き実施</li> </ul> </li> <li>○光熱水費の節減           <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内照明のLED化による省エネルギー対策を実施し, 光熱水費を節減（H30～ 電気代の節減効果の高い箇所から順次対応（6か年計画））</li> </ul> </li> </ul>

② 経営状況（経営目標）

業務の状況		R1 (実績)	(A)R2 (当初)	(B)R2 (見込)	(C)R3 (当初)	比較																
						C-A	C-B															
患者数(人)	入院延患者数	197,928	204,152	184,451	178,968	▲25,184	▲5,483															
	病床利用率 (病床数)	85.6% (632床)	88.5% (632床)	80.0% (632床)	78.3% (626床)	▲10.2% (0床)	▲1.7% (▲6床)															
	外来延患者数	267,446	263,575	243,805	242,760	▲20,815	▲1,045															
入院単価(円)		78,977	81,584	82,310	83,029	+1,445	+719															
外来単価(円)		23,237	25,002	25,345	25,483	+481	+138															
経常収益		24,185	25,613	25,801	26,716	+1,103	+915															
経常費用		24,311	25,414	24,477	25,079	▲335	+602															
経常収支		▲126	199	1,324	1,637	+1,438	+313															
経常収支の状況（百万円）		<table border="1"> <caption>経常収支の状況（百万円）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標 (第6次計画での目標) ※R3計画なし</th> <th>実績 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>532</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>567</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>578</td> <td>1,324</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td>1,637</td> </tr> </tbody> </table>						年度	目標 (第6次計画での目標) ※R3計画なし	実績 (見込)	H30	532	302	R1	567	126	R2	578	1,324	R3	-	1,637
年度	目標 (第6次計画での目標) ※R3計画なし							実績 (見込)														
H30	532	302																				
R1	567	126																				
R2	578	1,324																				
R3	-	1,637																				
<p>（ 経営計画の目標 ）</p> <p>経常収支黒字</p>																						

## (2) 安芸津病院の取組状況等

令和2年度は、地域住民の健康を支える取組として、地域の介護施設等との連携強化を図るとともに、地域の長期入院ニーズに対応するため、平成29年度に増床した地域包括ケア病床を活かして、引き続き地域包括ケア体制の強化を行っている。

また、新たな専門外来やアウトリーチクリニックを継続し、増収対策の取組強化を図るとともに、耐震化対応への取組も進めている。

令和3年度は、引き続き予防医療の推進や地域包括ケア体制の充実・強化を図るとともに、外来に係る新たな取組等を継続して実施し、収支の改善に取り組んでいく。また、耐震化対応の具体化を進める。

### ① 令和2年度の主な成果及び令和3年度の主な取組

#### <危機管理対応・医療機能の強化（患者受入体制の強化）>

項目	令和2年度の主な成果及び令和3年度の主な取組
災害対策の強化	○耐震化対応に向けた検討 ・旧棟の耐震化対応に向けた検討を開始（R1.9～） ・耐震化対応の具体化に係る構想を策定（R3）
予防医療の推進	○人間ドック・がん検診の件数増に向けた取組 ・医療公開講座、地域イベント、地元企業や行政機関への訪問による健診受診促進 ・安芸津病院運営支援に係る事務会議（H29～関係3市町で構成）を通じた受診率向上等に向けた取組の検討 健診件数（R1 2,640件 R2 見込 2,493件 R3 目標 2,790件） 内視鏡件数（R1 1,698件 R2 見込 1,424件 R3 目標 1,900件）
地域との連携 （地域包括ケアの推進）	○介護施設等との連携強化 ・地域の介護施設等との協議会（H28 設置）へ新たに2施設が加入し、ケアマネージャーを有する町内の全介護保険施設が参加するネットワークが完成（H30.6） ・病院の認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等を指導を実施し、地域の医療・介護機能を向上 訪問看護実施数（R1 2,062件 R2 見込 2,045件 R3 目標 2,100件） ○地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ、在宅復帰に向けた支援）の拡充（H29.4～） ・長期入院ニーズに対応し、平成29年度に21床から29床に8床増床、高い稼働率を維持 地域包括ケア病床稼働率（R1 97.2% R2 見込 89.8% R3 目標 98.0%）

#### <医療の質と患者満足度の向上>

医療の質と患者満足度の向上	○TQM活動や5S活動の推進 ・広島病院の改善推進部と連携し、TQM活動、5S活動の推進 ○ジェネリック薬品の導入促進による患者医療費負担の軽減 ジェネリック使用数量割合（R1 91.0% R2 見込 91.0%） ○オンライン診療（電話診療含む）の推進（R2.5～）
---------------	--

#### <収支改善の取組>

増収対策の取組強化	○訪問診療の取組の継続等による診療報酬の取得の継続 ・地域包括ケア入院医療管理料1（H30.7～） ○看護体制の強化による新たな加算の継続 ・看護職員配置加算（H30.5～） ・看護職員夜間配置加算（H30.5～） ・急性期看護補助体制加算（H30.4～） ○新たな外来の取組 ・整形外科の専門外来として、「骨粗鬆症外来」を新たに開始（R1.10～） ・呉共済病院忠海分院において、アウトリーチクリニックを開始（R1.10～）
材料費・経費等の費用節減	○薬品費の節減 ・使用薬品を広島病院と共通化し、両病院共同で購入価格の適正化を推進 共通化品目割合（R1 98.4% R2 見込 98.4%） ○光熱水費等の経費の一層の節減

② 経営状況（経営目標）

業務の状況		R1 (実績)	(A)R2 (当初)	(B)R2 (見込)	(C)R3 (当初)	比較	
						C-A	C-B
患者数(人)	入院延患者数	29,103	30,637	26,229	26,340	▲4,297	+111
	病床利用率	81.1%	85.6%	73.3%	73.6%	▲12.0%	+0.3%
	外来延患者数	62,981	65,612	52,838	53,736	▲11,876	+898
入院単価(円)		33,561	33,598	33,754	34,363	+765	+609
外来単価(円)		7,561	7,615	8,373	8,350	+735	▲23
経常収益		1,892	1,977	1,815	1,826	▲151	+11
経常費用		2,020	2,109	2,046	2,090	▲19	+44
経常収支		▲128	▲132	▲231	▲264	▲132	▲33
経常収支の状況（百万円）		<p> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">経営計画の目標</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">経常収支黒字</span> </p>					

(3) 病院事業全体（経営状況）

業務の状況		R1 (実績)	(A)R2 (当初)	(B)R2 (見込)	(C)R3 (当初)	比較	
						C-A	C-B
患者数(人)	入院延患者数	227,031	234,789	210,680	205,308	▲29,481	▲5,372
	病床利用率	85.0%	88.1%	79.1%	77.7%	▲10.3%	▲2.0%
	外来延患者数	330,427	329,187	296,643	296,496	▲32,691	▲147
入院単価(円)		73,155	75,323	76,265	76,785	+1,463	+520
外来単価(円)		20,249	21,536	22,322	22,378	+842	+56
経常収益		26,077	27,590	27,616	28,542	+952	+926
経常費用		26,331	27,523	26,524	27,169	▲354	+645
経常収支		▲254	67	1,092	1,373	+1,306	+281
経常収支の状況（百万円）							

### 3 財務状況

#### (1) 比較予定損益計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R2決算 見込(A)	R3当初 予算(B)	差 引(B-A)
<b>病院事業収益 a</b>	<b>27,958,217</b>	<b>28,488,102</b>	<b>529,885</b>
<b>医業収益 b</b>	<b>23,319,032</b>	<b>23,027,293</b>	<b>▲ 291,739</b>
入院収益	16,063,206	15,760,403	▲ 302,803
外来収益	6,595,764	6,609,011	13,247
その他	660,062	657,879	▲ 2,183
<b>医業外収益 c</b>	<b>4,218,185</b>	<b>5,430,809</b>	<b>1,212,624</b>
<b>特別利益 d</b>	<b>421,000</b>	<b>30,000</b>	<b>▲ 391,000</b>
<b>病院事業費用 e</b>	<b>26,876,287</b>	<b>27,143,712</b>	<b>267,425</b>
<b>医業費用 f</b>	<b>25,091,819</b>	<b>25,617,403</b>	<b>525,584</b>
給与費	13,222,147	13,380,278	158,131
材料費	7,235,405	7,390,078	154,673
減価償却費	1,390,283	1,412,350	22,067
その他	3,243,984	3,434,697	190,713
<b>医業外費用 g</b>	<b>1,354,294</b>	<b>1,471,470</b>	<b>117,176</b>
<b>特別損失 h</b>	<b>430,174</b>	<b>54,839</b>	<b>▲ 375,335</b>
<b>当年度純損益(a-e)</b>	<b>1,081,930</b>	<b>1,344,390</b>	<b>262,460</b>
経常収支(b+c)-(f+g)	1,091,104	1,369,229	278,125

#### (2) 予定キャッシュフロー計算書

(単位：千円)【税抜】

科 目	R 2 年度末	R 3 年度末
<b>I 業務活動によるキャッシュフロー</b>		
当年度純損益	1,081,930	1,344,390
退職給付等（退職給付、賞与、貸倒）引当	238,787	12,469
減価償却費	1,390,283	1,412,350
固定資産の除却	9,853	30,928
長期前払消費税償却・繰延勘定償却	62,817	70,954
長期前受金戻入収益	▲ 473,421	▲ 465,892
その他（未収金・未払金の増減等）	▲ 322,544	39,896
<b>業務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>1,987,705</b>	<b>2,445,095</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュフロー</b>		
固定資産の取得等	▲ 1,110,080	▲ 1,278,345
その他（一般会計負担金等）	1,072,378	919,525
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲ 37,702</b>	<b>▲ 358,820</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュフロー</b>		
企業債の発行	1,044,500	2,050,100
企業債等（企業債、基金借入金）の償還金	▲ 2,624,399	▲ 2,594,559
一般会計出資金	1,741	1,771
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>▲ 1,578,158</b>	<b>▲ 542,688</b>
<b>IV 資金増減額</b>	<b>371,845</b>	<b>1,543,587</b>
<b>V 資金期首残高</b>	<b>377,785</b>	<b>749,630</b>
<b>VI 資金期末残高</b>	<b>749,630</b>	<b>2,293,217</b>

## (3) 比較予定貸借対照表

(単位:千円)【税抜】

科 目		R 2 年 度 末		R 3 年 度 末		差 引 (B-A)
		金 額 (A)	構 成 比 率	金 額 (B)	構 成 比 率	
資 産 の 部	固定資産	16,862,874	73.9%	17,442,321	70.1%	579,447
	有形固定資産	16,403,284	71.9%	16,870,244	67.8%	466,960
	無形, その他の資産	459,590	2.0%	572,077	2.3%	112,487
	流動資産	5,951,903	26.1%	7,431,055	29.9%	1,479,152
	現金預金	749,630	3.3%	2,293,217	9.2%	1,543,587
	未収金, その他	5,202,273	22.8%	5,137,838	20.7%	▲ 64,435
	うち貸倒引当金	▲ 29,662	▲ 0.1%	▲ 29,662	▲ 0.1%	0
<b>資 産 合 計</b>		<b>22,814,777</b>	<b>100.0%</b>	<b>24,873,376</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,058,599</b>
負 債 の 部	固定負債	14,703,668	64.4%	14,248,368	57.3%	▲ 455,300
	うち企業債等	8,572,204	37.6%	8,116,904	32.6%	▲ 455,300
	うち退職給付引当金	5,913,460	25.9%	5,913,460	23.8%	0
	流動負債	6,736,315	29.5%	7,488,441	30.1%	752,126
	うち企業債等	2,594,558	11.4%	2,505,399	10.1%	▲ 89,159
	うち賞与引当金	550,543	2.4%	563,012	2.3%	12,469
	繰延収益 (長期前受金)	2,212,265	9.7%	2,627,876	10.6%	415,611
<b>負 債 合 計</b>		<b>23,652,248</b>	<b>103.7%</b>	<b>24,364,685</b>	<b>98.0%</b>	<b>712,437</b>
資 本 の 部	資本金	29,024,849	127.2%	29,026,620	116.7%	1,771
	自己資本金	29,024,849	127.2%	29,026,620	116.7%	1,771
	うち繰入資本金	28,464,218	124.8%	28,465,989	114.4%	1,771
	剰余金	▲ 29,862,320	▲ 130.9%	▲ 28,517,929	▲ 114.7%	1,344,391
	資本剰余金	743,806	3.3%	743,806	3.0%	0
	利益剰余金 (累積欠損金)	▲ 30,606,126	▲ 134.2%	▲ 29,261,735	▲ 117.6%	1,344,391
	繰越欠損金年度末残高	▲ 31,688,056	▲ 138.9%	▲ 30,606,125	▲ 123.0%	1,081,931
当年度純損益	1,081,930	4.7%	1,344,390	5.4%	262,460	
<b>資 本 合 計</b>		<b>▲ 837,471</b>	<b>▲ 3.7%</b>	<b>508,691</b>	<b>2.0%</b>	<b>1,346,162</b>
<b>負債・資本 合 計</b>		<b>22,814,777</b>	<b>100.0%</b>	<b>24,873,376</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,058,599</b>